

家庭科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 ()
 第 5 校時 13:40～14:25
 対 象 第 5 学 年 1 組 33 名
 学 校 名 小 学 校
 授 業 者 〇〇 〇〇
 会 場 教 室

1 題材名 物を生かして住みやすく (B衣食住の生活)

2 題材の目標

- ・住まいの整理・整頓や清掃の必要性を理解するとともに、身の回りの整理・整頓や清掃を適切にできる。(知識及び技能)
- ・住まいの整理・整頓や清掃について、問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。(思考力、判断力、表現力等)
- ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、整理・整頓や清掃について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返ったり改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

3 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①住まいの整理・整頓や清掃の必要性を理解している。	①住まいの整理・整頓や清掃について、問題を見いだし課題を設定している。	①家族の一員として生活をよりよくしようと、整理・整頓や清掃について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
②身の回りの整理・整頓の仕方を理解し、適切にできる。	②身の回りの整理・整頓や清掃について、課題解決に向けて考え、工夫している。	②家族の一員として生活をよりよくしようと、整理・整頓や清掃について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
③よごれの種類やよごれ方に応じた清掃の必要性を理解している。	③身の回りの整理・整頓や清掃について、実践を評価したり改善したりしている。	③家族の一員として生活をよりよくしようと、整理・整頓や清掃について、生活を工夫し、実践しようとしている。
④身の回りの清掃の仕方を理解し、適切にできる。	④住まいの整理・整頓や清掃についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	

4 指導観

(1) 題材観

本題材は、小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）第 8 節 家庭

B 衣食住の生活 住生活

(6) 快適な住まい方

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできること。

イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、適切な住まい方を工夫すること。

を受けて設定した。

ここでは、気持ちよく生活するために、住まいの整理・整頓や清掃が必要であることが分かり、身の回りの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできるようにすることをねらいとしている。

本題材では、児童の身の回りの物、児童が日常よく使う場所を取り上げる。整理・整頓については、使用目的や頻度、大きさや形などによって整理・整頓の仕方を工夫する必要があることに気付かせ、必要な物がすぐに取り出せるか、空間を有効に使えるかなどの視点から、整理・整頓の仕方を理解し適切にできるようにする。清掃については、床や窓などの汚れの種類が分かり、汚れ方に応じて清掃の仕方を工夫する必要があることに気付かせ、適切にできるようにする。

また、身近な生活の中から問題を見だし課題を設定し、その課題を解決するために、より効果的な整理・整頓の仕方や効率的な清掃の仕方について検討できるようにする。

(2) 児童観

児童は、実践的・体験的な学習への関心が高く、意欲的に学習に取り組もうとしている。調理や裁縫の学習では、分からないことを友達に聞いたり、困っている友達にアドバイスをしたりするなど、友達同士の交流を通して知識や技能を高めている様子が多く見られる。

学級では、毎朝の提出物や自分の持ち物の管理など、自分でできることを自分でするように指導が入っている。多くの児童が習慣化できているが、まだ習慣化できていない児童もいる。習慣化できていない児童の多くは、自分が何を持ってきているのか把握できていなかったり、整理・整頓ができないまま物を管理してしまったりしている傾向が見られる。

本題材では、児童が日常的に行っている整理・整頓や清掃について、必要性や方法などを考え、思考を広げたり深めたりしていく。家庭科の学習が日常生活に結びついていることに気付かせ、学習したことを家庭や学校での生活に生かしていこうとする姿勢を育てていきたい。

(3) 教材観

- ・題材全体を通して、道具箱の整理・整頓、教室等の掃除、家庭のさまざまな場所と、徐々に対象を広げ、児童の視野が広がるよう設定する。
- ・整理・整頓の学習では、記録写真をワークシートに貼り、見開きの形にすることで、児童自身の変化について視覚的に気付きを促す。
- ・道具箱の整理・整頓や教室等の清掃など、児童が日常的に行っている活動に焦点を合わせることで、学習内容を日常生活での実践につなげる。
- ・グループや学級全体での対話を通して、他者の考えを知り、自分の思考を広げたり深めたりできるようにする。
- ・題材全体を1つのワークシートにまとめ、いつでも前時までの振り返りができるようにする。

5 年間指導計画における位置付け（住生活に関する題材 全 20 時間）

	題材名	時数
第5学年	物を生かして住みやすく	7時間
第6学年	夏をすずしくさわやかに	8時間
	冬を明るくあたたかく	5時間

6 題材の指導計画と評価計画（全7時間）

次	時	目標	学習内容・学習活動	評価規準(評価方法)		
				ア	イ	ウ
1	1	住まいの整理・整頓や清掃の必要性を理解する。	・身の回りを気持ちのよい場所にするための方法を考え、掃除と整理・整頓の必要性を知る。	① (ワークシート)		
2	2	身の回りの整理・整頓の仕方を理解する。	・自分の道具箱を使いやすく整理・整頓し、方法や工夫をまとめる、発表し合う。	② (ワークシート)	① (ワークシート)	① (ワークシート・行動観察)
	3	身の回りの整理・整頓の仕方を工夫する。	・使いやすい状態が長続きするように、道具箱の整理・整頓の工夫を考え、実践する。		② (ワークシート)	② (ワークシート・行動観察)
	4	よごれの種類やよごれ方の違いを理解する。	・学校内のさまざまな場所に、どのようなごみやよごれがあるかを調べ、種類をまとめる。	③ (ワークシート)	③ (ワークシート)	② (ワークシート・行動観察)
	5	よごれの種類やよごれ方に応じた清掃の仕方を工夫する。	・普段掃除をしている場所について、よごれに合った掃除の仕方を考え、清掃計画を立てる。	④ (ワークシート)	④ (ワークシート)	③ (ワークシート・行動観察)
	課外	計画に沿って清掃活動を実行する。	・学校の掃除の時間を使って、計画に沿って清掃活動を実行する。			
	6	これまでの学習を生かした家庭実践の計画を立てる。	・掃除と整理・整頓の学習を生かして、家庭で気持ちよく過ごすための計画を立てる。		② (ワークシート)	③ (ワークシート・行動観察)
7	家庭実践を振り返り、生活をよりよくするための工夫を考える。	・家庭実践を振り返り発表し合い、物を生かして気持ちよく生活するための工夫を考える。		④ (ワークシート)	④ (ワークシート・行動観察)	

7 指導に当たって

- ・体験活動の時間を多く取り入れ、実感を伴う学びから知識や思考を深められるようにする。
- ・人や物とのさまざまな対話を通して学びを得られるよう、対話をする活動を多く設定する。
- ・身近な物や場所を例として取り上げることで、学習内容を普段の生活に生かせるようにする。

8 本時（全7時間中の第6時）

(1) 本時の目標

これまでの学習を生かした家庭実践の計画を立てる。

(2) 本時の展開

時間	○学習内容 ・学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 10分	<p>○前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に行った清掃活動の振り返りを全体で共有する。 ・年末年始に家でしている仕事と、家族が困っていることを紹介する。 <p>○本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り清掃活動を実行できたか確認し、事前に提出された班ごとの振り返りを紹介する。 ・事前課題「家族へのインタビュー」の内容について、一部をまとめ、モニターに映す。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 年末年始・大作戦の計画を立てよう！ </div>			
展開 30分	<p>○冬休みの家庭実践に向けて、自分が取り組んでみたいことを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末年始に家庭で行っている仕事で、よりよくしたいことを考える。 <p>○これまでの学習を生かした、年末年始・大作戦の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末年始に自分も家族も気持ちよく過ごせるための、実践計画を立てる。 ・実践計画をグループで見せ合い、アドバイスをし合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族へのインタビューを参考にしよう伝える。 ・家の大掃除の計画を立てよう伝え、どの場所を掃除するか決めるよう促す。 ・大切にしたいキーワードを選び、そのキーワードに則した工夫を考えるよう促す。 ・自分だけでも実践できる現実的な計画にするよう声をかける。 ・分からないことは質問したり、困っていることにアドバイスをしたりすることで、計画がより具体的になることを確認する。 	<p>イー② 家庭の整理・整頓や清掃について、課題解決に向けて考え、工夫している。(ワークシート)</p> <p>ウー③ 家族の一員として生活をよりよくしようと、これまでの学習を生かして家庭生活の工夫を考え、実践しようとしている。(行動観察)</p>
まとめ 5分	<p>○本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、選んだキーワードと合わせて発表し合う。 ・年末年始・大作戦の実践について確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践計画が完成していない児童には、続きは家庭で、家の人と相談して考えるよう伝える。 ・状況に合わせて実践計画は変更できること、実践してみようとする気持ちが大切だということを伝える。 	

(3) 板書計画

物を生かして住みやすく

めあて 年末年始・大作戦の計画を立てよう！

大切にするキーワード

年末年始にしている仕事

健康 快適 安全 協力

・大そうじ

伝統 環境 ものを大切に

・おせち料理の準備

・年賀状

・お正月のかざりつけ

(4) 授業観察の視点

- ・ 学習内容は、本時や題材の目標達成のために有効であったか。
- ・ 児童への発問や指示・説明は、主体的・対話的な学びを促すために適切であったか。
- ・ 板書やICT機器の活用は、既習事項を生かした実践計画を立てるために有効であったか。